



『ワンショットアンダーパピー』

編集長 川俣のレビュー

面白さ	★★★★★
エロさ	★★★★★
ストーリー性	★★★★★
何度も	★★★★☆

■感想

顔面偏差値バグってるヒロイン・ゆなと、イケメン童貞カメラマン・棕の“わからせ系”ラブエロ漫画。

絵のクオリティがめちゃくちゃ高くて、テンポも良くてスルスル読めるのが最高。ぶりっ子な仮面をかぶったゆなが、どんどん素をさらけ出していく展開がアツいし、棕くんのちょいキモオタなセリフのギャップもクセになる。

Hシーンもガッツリ抜けるし、何より2人の関係がちゃんと深まっていく感じがして尊い。棕のカメラ技術にゆなが素直に感心してたりして、ただの調教モノじゃなくて相性バツグンのカップル感もあって読後感もハッピー。

メスガキ好きはもちろん、絵がキレイなエロ漫画探してる人にも刺さるはず。連載でこの2人の続きが読みたい！

『ワンショットアンダーパピー』を今すぐ立ち読み